

山行報告書

報告書作成

2008年5月9日

山名 [山域]	守門岳・浅草岳 [越後]	目的と方法	山スキー200名山登頂・展望
登山期間	2008年04月27日(日)～29日(火)	山行形態	前夜発1泊2日(車中泊日帰り)
参加人数	4人		

[4/27(日)晴れ]

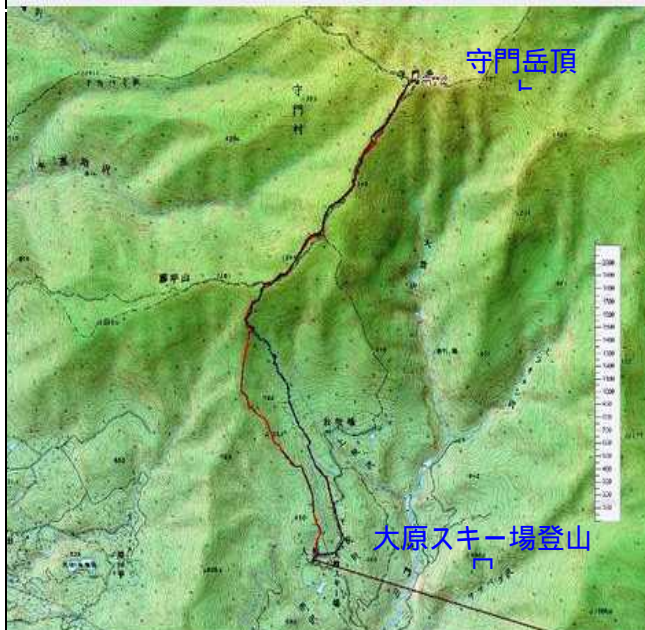
河合池公園P発(1610)===豊田東IC(1620)===中津川IC(1710)===伊北IC(1810)===上越高田IC(1955)===米山SA(2025,2055)===小千谷IC(2130)===堀之内IC(2145)===守門岳登山口、大原スキーPKG(2235,2315消灯)TS1

[4/28(月)、曇り時々晴れ一時霽、守門岳]

スキー場PTS1(650)===リフト終点前(710,740)---コル尾根1190m(1155)---守門岳頂上(1250,1320)---登山口着(1535,1555)===寿和温泉(1610,1700、600円)===夕食(1730,1830)===浅草山荘着(1910,2020消灯)TS2

[4/29(火)、晴れ、浅草岳]

TS2(430,550)---滝1100m(850)---前岳(1030)---浅草岳頂上(1055,1115)---滝(1210)---登山口着(1340,1435、入浴600円)===堀之内IC(1525)===米山SA(1610,1645)===上越IC(1705)===長野IC(1750)===伊北IC(1845)===中津川IC(1940)===豊田東IC(2020)===河合池公園P(2030)解散



日誌

河合池P発、運転を約2時間で交代しながら、通勤割引を有効に利用しながら、5枚目にて米山SAにて夕食。約6時間30分にて守門岳登山口大原スキー場Pに到着、30台位は駐車可能。前日より山スキーに来ているK夫妻と合流となる。

スキー場Pはトイレ使用不可。明日の山行内容確認後消灯。

前日の夜中から朝は雨降りです少し心配したが、雨が止んだので予定より少し遅らせ登山口まで車で移動、早速、

シールを着けリフト横を登山開始、滝ノ沢西側の尾根沿いの雪のある所を登っていくが思ったより雪が少ない箇所があったり、急斜面のため、スキーを外し、担いで歩行する箇所があったりして、尾根上部にでるのにかなり手ごわいものでした。

尾根歩行中にはイワウチワが咲いており春を感じるものがありました。

尾根上部から、守門岳までは東斜面の雪尻に注意しながら快適なスキー歩行である。

頂上は雪がなく、360度の展望を楽しんで、明日登頂する浅草岳を確認し下山開始する。

下山は快適なスキーを楽しみながら、急斜面の箇所はスキーを外し、広々とした滝ノ沢を滑り、登山口に到着。

下山後、寿和温泉入浴(600円)後買出し、夕食(よしみや)後浅草山荘着、広い駐車場はあるがトイレ等はない。

明日の山行内容確認後、軽い宴会後消灯。

林道よりシールを着け、ムジナ沢沿い南斜面の雪のある所を歩行するが、やはり尾根沿いの一部が雪がないため、スキーを外し、ルートを確認しながら、シール歩行をする。途中、立派な滝があり(3～4mの落差)、この付近からは、前岳が見える。ムジナ沢が分岐している箇所の北斜面急登を登ると夏道とほぼ合流する。ここまで来ると浅草岳は近い。尾根沿いをシール歩行し前岳を登ると目の前が浅草岳である。頂上付近は雪がなく快晴の中360度の大展望は、すぐ南眼下には田子倉湖、南方向に駒ヶ岳、荒沢岳、北西に守門岳が観え、大満足である。

下山は待望のムジナ沢南西大斜面の大滑降である、沢沿いの雪のある斜面を滑り、一箇所のみスキーを

感想:2日間共予想以上にハードな山スキーになりましたが、達成感はひとしおだと思えます。少し雪不足がなければ、登山時間も短縮可能です。今回は、往復で10枚の通勤割引を利用、レコード達成である。